ハンディターミナル

ALF ARK-950

取扱説明書

ご使用前に必ず本書をよくお読みいただき、
正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に
保管してください。

ALFARK-950　取扱説明書
平成22年8月発行

株式会社アルフ
〒155-0032 東京都世田谷区代沢3-6-11
TEL 03-5432-7170 FAX 03-5432-7172
ホームページ http://www.alf-net.co.jp

Li-ion
リチウムイオン電池
のリサイクルに
ご協力ください。

0601-3

このたびはハンディターミナルをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、本機が十分な性能を発揮できますよう、正しい取り扱いをお願い致します。

記載内容に関するご注意

- 本書では、ハンディターミナルをご使用になる上での、基本的な取り扱い方法について説明しております。日常業務のためのキー操作方法、データ通信方法など、アプリケーションにかかわる取り扱いや、使用上の注意につきましては、ソフトウェア供給者による操作説明書をお読みください。
- 本書では、本機のプログラム方法、ダウンロード方法などは記述しておりません。
- 本書は間違いや、誤記の無いように注意して編集しております。万が一、誤記や記載漏れがあった場合でも、それに起因するお客様の直接の損害、不利益につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては改良などにより、将来予告なく変更することがあります。

運用に関するご注意

- 本機は海外ではご使用になれません。（日本専用モデル）
  本機は日本国内で使用する仕様となっており、海外の規格には準拠しておりません。よって、海外で使用された不具合につきましては、当社はその責任を一切負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 本機の故障や修理・その他取扱いによって、万が一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因に係らず当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電波障害自主規制について

この装置は，情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は，家庭環境で使用することを目的としていますが，この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると，受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

安全上のご注意　（必ずお読みください）

●ご使用の前に必ず、安全上のご注意をお読みの上、正しくお使いください。
●本書では、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用者や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示（記号）を使っています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。
●このマニュアルは、必要なときすぐに参照できるようお手元に保管してください。

危害･損害の程度とその表示

このマニュアルでは、製品を安全にお使いいただくための項目を記載しています。
表示内容を無視して誤った取り扱いをすると生じる危害の大きさと損害の程度を「危険」「警告」「注意」の３つに区分けしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ **危険**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容を示します。
⚠ **警告**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。
⚠ **注意**	この表示は、取り扱いを誤った場合、「障害を負う可能性または物的損害の発生が想定される」内容を示します。

次の絵の表示区分は、お守りしていただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で取り扱ってはいけないことを示します。

指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源コードを抜く	電源コードのプラグをコンセントから抜いていただくことを示します。
ビームをのぞかない	ビームをのぞき込まないことを示します。

ハンディターミナル、バッテリーパック、ACアダプタの取り扱いについて(共通)

⚠危険

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置をしないでください。
機器の変形や故障、バッテリーパックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。
また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。
火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、バッテリーパックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

濡らさないでください。
水などの液体が入ると発熱、感電、火災、故障などの原因となります。湿気の多い場所など、使用場所、取り扱いにご注意ください。
万が一液体が入った場合は、電源を切り販売店にお問い合わせください。乾いているようでも内部に水分が残っていることがあります。

⚠警告

電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器にハンディターミナルやバッテリーおよびACアダプタを入れないでください。
ハンディターミナルやACアダプタの発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させたり、バッテリーパックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げたりしないでください
バッテリーパックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にハンディターミナルの電源をお切りください。また、充電もしないでください。
ガスに引火する恐れがあります。

ハンディターミナルに使用するバッテリーパックおよびACアダプタは当社指定のものを使用してください。
指定以外のものを使用した場合は、ハンディターミナルおよびバッテリーパックやその他機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

	使用中、充電中、保管時に異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なる状態になったときは、直ちに次の作業を行ってください。 **１．電源コードをコンセントより抜く** **２．ハンディターミナルの電源を切る** **３．バッテリーパックを取り外す** そのまま使用した場合、ハンディターミナルおよびバッテリーパックやその他機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。
	お子さま、特に乳幼児の手の届かない所へ保管してください。 誤って飲み込んだり、けがの原因となります。 また、ビニール袋などの梱包材料は窒息事故を起こすおそれがあります。

⚠注意

	ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。 落下して、けがや故障の原因となります。
	湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には保管しないでください。 故障の原因となります。
	お手入れの際は、必ず本機や周辺機器の電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜き、バッテリーパックを取り外してください。 感電の原因となります。
	充電した状態で長時間連続使用される場合は、特にご注意ください。 ハンディターミナルやバッテリーパック、ACアダプタの温度が高くなることがあります。 長時間、温度の高い部分に直接触れると低温やけどの原因となる恐れがあります。

ハンディターミナルの取り扱いについて

⚠警告

レーザー光をのぞき込まないでください。
レーザー光によって目に障害を与えるおそれがあります。
レーザー光が目に入るような行為は絶対に避けてください。

煙や異臭、異常な音、手でさわれないほど熱いときは、すぐに本機の電源を切り、充電を止めてください。バッテリーパックを装着しているときは、安全を確認してから取り外してください。
そのまま使用すると、火災、やけど、感電のおそれがあります。内部の点検・調整は、販売店にお問い合わせください。

雷が鳴り出したら、本機や本機に接続されているケーブル類に触れたりしないでください。また、機器の接続や取り外しを行わないでください。
落雷による感電のおそれがあります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

歩行中または運転中に操作しないでください。
歩行中または運転中に操作しないでください。転倒や交通事故などの原因になります。

⚠注意

本機の内部には触らないでください。
故障の原因になったり、感電のおそれがあります。

本機のコネクタや端子をショートさせないでください。
本機を発熱、発煙、発火させたり、バッテリーパックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

本機の内部に次のような異物を入れないでください。
- 金属物
- 水などの液体
- 燃えやすい物質
- 薬品

内部に異物が入った場合は、電源を切り販売店にお問い合わせください。そのまま使用すると回路がショートして火災の原因となります。

	誤ってディスプレイを破損し液体が漏れた場合、絶対に液体に触れないでください。 万が一、液体が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。 また、皮膚や衣服に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。 失明や皮膚に障害を起こす原因となります。
	ストラップなどを持って本機を振り回さないでください。 本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。
	破損した場合はそのまま使用しないでください。 万が一、本機を破損した場合は、電源を切り、お買い上げになった販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

バッテリーパックの取り扱いについて

⚠危険

火の中に投下しないでください。
バッテリーパックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

バッテリーパックの端子を金属類で接触させないでください。
バッテリーパックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

バッテリーパックをハンディターミナルに取り付けるときに、うまく取り付け出来ない場合は、無理に取り付けないでください。また、バッテリーパックの向きを確かめてから取り付けて下さい。
バッテリーパックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
バッテリーパックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池は、お子さま、特に乳幼児の手の届かない所へ保管してください。
電池内部には有害物質が含まれているため、誤って飲み込んだり、なめたりすると危険です。万が一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

バッテリーパックの内部の液体が目の中に入ったとき、こすらずに、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診断を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

落下による変形や傷など外部からの衝撃によりバッテリーパックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。
バッテリーパックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因になります。

バッテリーパックの使用時間が今までより著しく短くなった場合は、バッテリーパックの異常の可能性がありますので使用を中止してください。
この異常なバッテリーパックを充電すると、バッテリーパックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

所定の充電時間を越えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
バッテリーパックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

バッテリーパックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

⚠注意

バッテリーパック内部の液体が皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。
皮膚に障害を起こす原因となります。

濡れたバッテリーパックを充電しないでください。
バッテリーパックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

電池を直接はんだ付けしないでください。
直接はんだ付けすると、破裂して、けがや火災の原因となります。

●リチウムイオン電池のリサイクルにご協力ください

・本機のバッテリーパックには、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。使用済みのバッテリーパックは、販売店または充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

Li-ion00

〈リサイクル時の注意〉
バッテリーパックの端子は絶縁するためにテープ等を貼ってください。
また、バッテリーパックを分解しないでください。
漏液、発熱、破裂、発火、感電の原因となります。

電源、ACアダプタの取り扱いについて

⚠警告

電源コードのつけ根部分を無理に曲げたり、折れ曲がった状態や束ねた状態で使用しないでください。
感電、火災の原因となります。

破損した電源コードは使用しないでください。
感電、火災の原因となります。

ACアダプタ（クレードル含む）に重いものをのせたりしないでください。
感電、火災の原因となります。

ACアダプタ（クレードル含む）を布などでくるまないでください。
感電、火災の原因となります。

濡れた手でACアダプタのコンセントに触らないでください。
感電の原因となります。

タコ足配線にしないでください。
火災の原因となります。

雷が鳴り出したら、ACアダプタには触れないでください。
落雷による感電のおそれがあります。

ACアダプタ（クレードル含む）を屋外で使用しないでください。
感電、火災の原因となります。

指定の電源、電圧（AC100V）で使用してください。
誤った電圧で使用すると、火災や故障の原因となります。

ACアダプタのプラグについたほこりは乾いた布で拭き取ってください。
火災の原因となります。

長期間使用しない場合は、ACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

⚠注意

	ACアダプタのプラグをコンセントに差し込むときは、金属類を触れさせないように注意し確実に差し込んでください。 感電、ショート、火災の原因となります。
	ACアダプタとクレードルの接続部を触るときは充分ご注意ください。 故障等で過熱している場合もあり、やけどする恐れがあります。
	クレードルを運搬、移動する際はACアダプタを外してください。 電源コードでつまずいたり、引っかかったりし、けがや故障の原因となります。
	本機のACアダプタを他の製品には使用しないでください 使用した製品が破損するおそれがあります。 破損した場合、当社は責任を負いかねます。

無線通信機能の取り扱いについて

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
電波により医療用電気機器に影響を及ぼす場合があります。

・手術室、集中治療室、冠状動脈疾患監視病室では、本機の無線通信機能をオフにするか電源を切ってください。

・医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

心臓ペースメーカーを装着されている場合は、装着部位から22cm 以上離し携行および使用してください。

電波により心臓ペースメーカーの動作に影響を及ぼす場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカーを装着している方がいる可能性がありますので、本機の無線通信機能をオフにするか電源を切ってください。

電波により心臓ペースメーカーの動作に影響を与える場合があります。

⚠注意

本機はオプションにより小電力データ通信システムの無線装置を内蔵しております。
使用している周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

・本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。

・万が一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。

商標について

・Microsoft、Windowsは、米国およびその他の国における米国マイクロソフト社の商標また登録商標です。
・Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INCの登録商標で、株式会社アルフはライセンスを受けて使用しています。
・本製品はファイルシステム機能として株式会社京都ソフトウェアリサーチの「Fugue」を搭載しています。
Fugue (c)1999−2009 Kyoto Software Research, Inc. All rights reserved.
・その他、本書に掲載の会社名、商品名は各社の商標また登録商標です。

使用上のご注意　（必ずお読みください）

●次のような場所では、使用/保管しないでください。
誤動作や故障、破損の原因となります。
・ほこりが多い場所
・衝撃や振動が加わる場所
・不安定で落下の可能性がある場所
・長時間直射日光の当たる場所
・極端な高温または低温の場所
・急激な温度変化が起こる場所
・湿度の高い場所
・静電気が発生しやすい場所

●本機は次の環境で使用してください。
範囲外で使用すると故障の原因となります。
温度：動作時-5℃～50℃
充電時 5℃～35℃
湿度：20％～85％（結露しないこと）

●本機の取り扱いの際は、次の点にご注意ください。
けがや故障、破壊の原因となります。
・強い衝撃を与えたり、落としたり、ぶつけたりしないでください。
・結露した状態で使用しないでください。
・静電気に注意してください。
・ディスプレイの表面を強く押したり、こすったり、衝撃を与えないでください。
・運搬、移動時にはコード、ケーブルを外してください。
・コード、ケーブルは整理してください。
・コード、ケーブルを引っ張って取り外さないでください。
・本機を分解、改造、修理しないでください。保証やサービスの対象外となります。

●外部接続端子（イヤホンマイク、USB）に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破壊の原因となります。

●通常は外部接続端子カバーをはめた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

●バッテリーカバーを外したまま使用しないでください
バッテリーパックが外れたり、故障、破損の原因となります。

●大切なデータは定期的にバックアップしてください。

・お客様または第三者が本機を使用する際、誤使用、落下、水濡れ等の故障またはバッテリーパックの寿命によりデータが消えたり、変化したことによる損害については当社は一切その責任を負いません。あらかじめご了承ください。

・バッテリーパックが消耗したまま放置したり、交換が正しく行えない状態が続くと内部のメモリに電源供給されません。このような場合、データが消えてしまったり、変化してしまうことがあります。一度消えたデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ずバックアップ（コピー）しておいてください。

●バッテリーパックは消耗品です。

使用状態によって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときはバッテリーパックの交換時期です。指定の新しいバッテリーパックをお買い求めください。

●バッテリーパックの使用時間は、使用環境、バッテリーパックの劣化度により異なります。

●バッテリーパックを長期保管される場合は、次の点にご注意ください。

1．満充電状態（充電完了後すぐの状態）で保管しないこと

2．電池残量なしの状態（本機の電源が入らないほど消費している状態）で保管しないこと

上記条件での保管は、バッテリーパックの性能や寿命を低下させる原因となります。長期保管に適したバッテリー残量は、目安としてバッテリーマーク表示が2本の状態をお勧めします。

●長期間使用しないときは、安全のため、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

●医療機関の屋内や満員電車の中などの混雑した場所では無線通信機能をオフにするか電源を切ってください。

電波により医療用電気機器に影響を与える場合があります。

●無線通信機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お手入れ

●お手入れの際は、ケーブル類を外し、ACアダプタをコンセントから抜き、電源を切ってから行ってください。感電のおそれがあります。

●表面の汚れは柔らかい布で拭いてください。傷がつく場合があります。
汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

●ディスプレイの汚れは柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
取り扱いには十分にご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

●水滴や汚れなどが付着したまま放置しないでください。
シミになったり、変色することがあります。

●お手入れにアルコールやシンナーあるいはベンジンなどの有機溶剤、または研磨剤を含む洗剤を使用しないでください。
印刷が消えたり、変色することがあります。

●端子は乾いた綿棒で時々清掃してください。
端子が汚れていると接触が悪くなり、ハンディターミナル本体、クレードル間の通信ができなくなることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を綿棒や乾いた布などで拭いてください。

目　次

記載内容に関するご注意 …… 1

運用に関するご注意 …… 1

安全上のご注意 …… 2

使用上のご注意 …… 12

お手入れ …… 14

同梱品の確認 …… 16

各部の名称と機能 …… 17

バッテリーパックの取り付け／取り外し …… 19

バッテリーパックの充電 …… 22

使用方法 …… 24

副電池の残量確認方法 …… 26

周辺機器の接続方法 …… 27

バーコードの読み取り方 …… 30

ARK-950の仕様 …… 32

同梱品の確認

お買い上げいただいた本機の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万が一欠品、破損品がございましたら、お手数でもお買い上げになった販売店までご連絡ください。

●ハンディターミナル本体

●バッテリーパック（1 個）

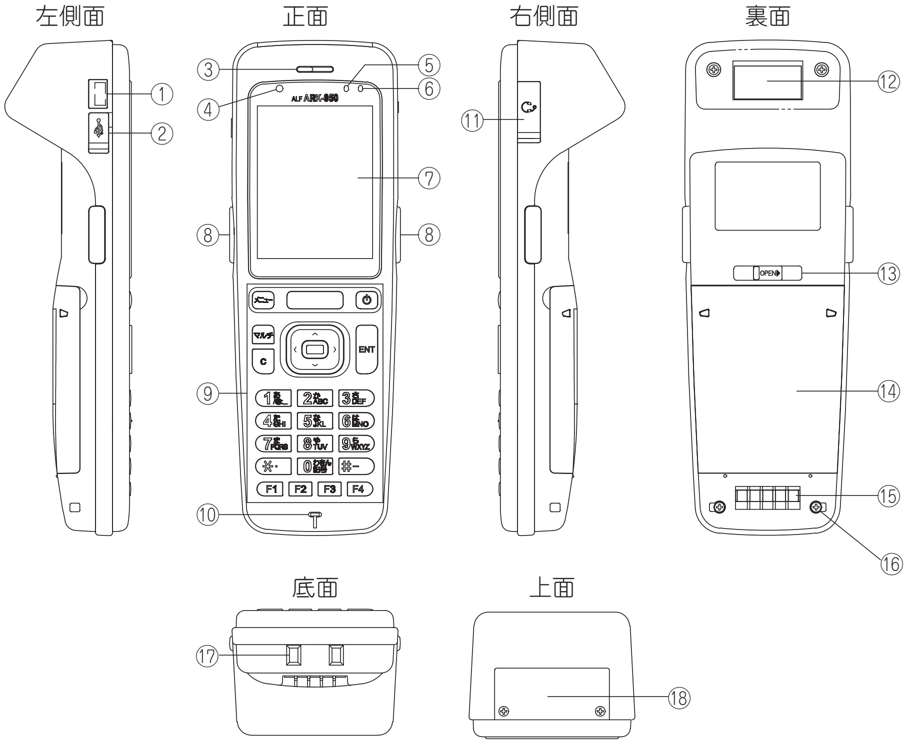
●取扱説明書（本書）

ご注意

・別売品およびバッテリーパックなどの消耗品は当社指定のものをご使用ください。
・上記以外の付属品については販売店へご確認ください。

本機の性能を発揮させるために当社推奨の消耗品や別売品を使用されることをお勧めいたします。推奨品以外のものを使用された場合、本機の性能を十分発揮できない場合があります。

各部の名称と機能



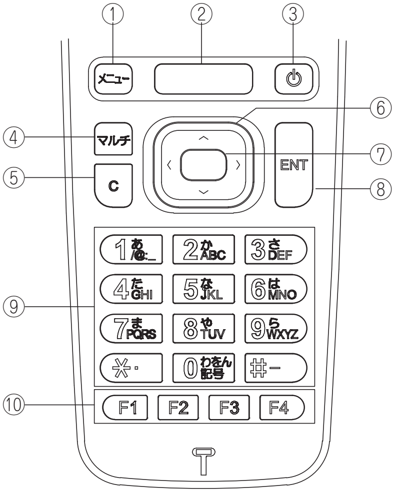
名　　称	機　　　能
①赤外線ポート	赤外線通信を利用する時に使用します
②USB	パソコンなどと接続します 通常はカバーで覆われています、使用時はカバーを開き使用します
③スピーカ	音はここから聞こえます ※イヤホンマイク接続時はイヤホンから聞こえます
④照度センサ	周囲の明るさにより、ディスプレイのバックライトの明るさを調整します
⑤アプリケーション LED	アプリケーションにより制御します バーコードが正常に読み取れたときなど、緑色に点灯させることができます
⑥ステータスLED	バッテリーの状態を表します オレンジ色点灯：充電中 緑色点灯　　　：充電完了 赤色点灯　　　：充電異常または充電可能温度範囲外
⑦ディスプレイ	文字や操作指示など、各種の状態を表示します
⑧サイドトリガキー	バーコード読み取りを行うためのキーです アプリケーションにより、任意の機能を設定することも可能です
⑨キーボード	電源キー、テンキーなど、本機を操作するキーです
⑩マイク	音声をここから伝えます ※イヤホンマイク接続時はイヤホンマイクから伝えます
⑪イヤホンマイク	イヤホンマイクなどを接続します 通常はカバーで覆われています、使用時はカバーを開き使用します

⑫スキャナ	レーザ光が照射されたバーコードを読み取ります
⑬ロックレバー	バッテリーパックカバーが外れないようにロックします 開けるときはスライドさせます
⑭バッテリーパックカバー	この中にバッテリーパックを取り付けます
⑮データ通信端子	クレードルとデータ通信を行う端子です
⑯ハンドストラップ取り付け穴	ハンドストラップを取り付けます
⑰給電端子	クレードルからの給電を行う端子です
⑱SDスロット	無線LANカードやPHSカードを利用するときに使用します 通常はカバーで覆われています

■操作キーと機能

操作キーの名称と機能について説明します。

※記載した内容はWindows画面上の機能ですが、アプリケーションにより、電源キーを除く全てのキーに任意の機能を設定することが可能です。
詳細はソフトウェア供給者による操作説明書をお読みください。



名　称	機　能
①メニューキー	メニューを表示します
②センタートリガキー	バーコード読み取りを行うためのキーです
③電源キー	電源をオン／オフしたり、サスペンド状態へ遷移するためのキーです
④マルチキー	WindowsCEのスタートメニューを表示します
⑤Cキー	入力した文字の左1文字を削除します
⑥カーソルキー	カーソルの移動をします
⑦センターキー	マウスカーソル表示時のみ以下の機能になります 短押し：マウス左クリック 長押し：マウス右クリック
⑧ENTキー	入力を確定します
⑨テンキー	数値などを入力します
⑩ファンクションキー	F1：マウスカーソルの表示／非表示切替 F2：Tab F3：スペース F4：文字入力切替 （数→アルファベット→ひらがな→カタカナ）

バッテリーパックの取り付け／取り外し

本機が使用するバッテリーパックは、次の通りです。

型番　ALF-BT200
品名　BATTERY PACK
仕様　3.7V　2000mAh　7.4Wh

ご購入時、バッテリーパックは充電されていません。充電を行ってからお使いください。

満充電（バッテリーパックを充電してステータスLED が緑色に点灯した状態）で使用できる時間が短くなったら、新しいバッテリーパックを購入し交換してください。
交換の目安はご購入後１年または充放電300回です。

バッテリーパックは、専用クレードル（ARK-950ST）またはUSBを使用して充電できます。
充電の方法は、「バッテリーパックの充電」のページを参照してください。

バッテリーパックを交換するときの注意

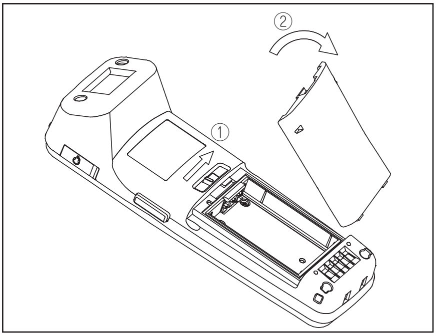
・バッテリーパックの交換を行う際は、『安全上のご注意』を必ずお読みください。
・バッテリーパックの交換は必ず本機の電源をオフにしてから行ってください。電源がオンのときや、サスペンド状態のままバッテリーパックを取り外すと、データが消えてしまったり、変化してしまうことがあります。１度消えたデータを修復することはできませんので、大切なデータは必ずバックアップ（コピー）しておいてください。
・バッテリー収納部の端子部分には絶対に触れないでください。接触不良の原因となります。
・バッテリーパックの交換を行うときは、電源を切りUSBケーブルを抜いてください。
・バッテリーパックは充放電をくり返すうちに電池寿命が低下します。充電しても極端に連続使用時間が短くなったらバッテリーパックを交換してください。
・電池寿命を過ぎて使用すると、バッテリーパックが膨らむ場合があります。そのようなときはバッテリーパックを交換してください。

■バッテリーパックの取り付け

1 **本機を裏返します**

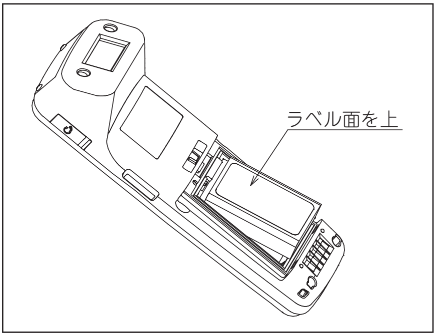
2 **次の手順でバッテリーカバーを取り外します。**

①USBケーブルが接続されていないことを確認し、ロックレバーを矢印の方向（OPEN 側）へスライドさせます。
②バッテリーカバーを持ち、上に引き上げて取り外します。



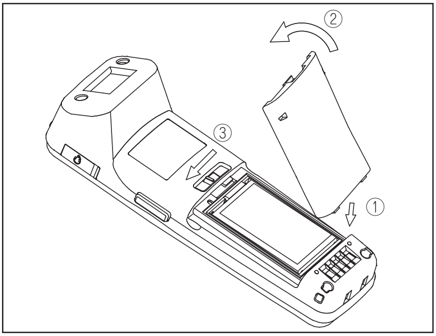
3 **バッテリーパックを、図のような方向に取り付けます**

向きを間違えないように注意してください。
また、バッテリーパックは必ず本機専用バッテリーパックをご使用ください。それ以外のものを使用すると故障の原因となります。



4 **次の手順でバッテリーカバーを元に戻します。**

①バッテリーカバーを矢印の方向へ差し込みます。
②バッテリーカバーを静かに閉めます。
③ロックレバーを矢印の方向（LOCK 側）へスライドさせます。
④バッテリーカバーが確実にロックされていることを確認します。



■バッテリーパックの取り外し

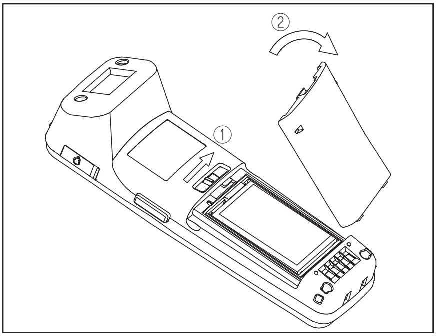
1 **本機の電源を切ります**

電源キーを長押し（約３秒）し、電源を切ります。
サスペンド状態のときは、一旦サスペンド状態から復帰した後、電源キーを長押しし、電源を切ります。

2 **本機を裏返します**

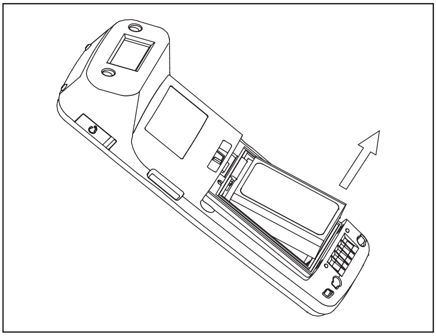
3 **次の手順でバッテリーカバーを取り外します。**

①USBケーブルが接続されていないことを確認し、ロックレバーを矢印の方向（OPEN 側）へスライドさせます。
②バッテリーカバーを持ち、上に引き上げて取り外します。



4 **図のようにバッテリーパックを取り出します**

バッテリーを取り付ける場合は、取り付けの３．の手順より行ってください。



バッテリーパックの充電

■バッテリーパック残量の確認

本機をバッテリーパックのみで使用する際は、バッテリーパックの残量に注意してください。
バッテリーパックの残量は「設定」→「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」の「バッテリ」タブ（メインバッテリ側）で確認できます。

状態が「低」、「残りわずか」になっていたら、すぐに充電を行ってください。

状態	警告内容
ＯＫ	そのままご使用になれます。
低	バッテリー電圧が不足しています。充電してください。
残りわずか	バッテリー電圧がありません。すぐに充電してください。充電しない場合、数分後に自動的にサスペンド状態になります。

また、バッテリーパックの残量が低下すると「メイン電池低電圧」の警告が表示されます。
表示が出た場合は、すぐに充電を行ってください。

バッテリーパック残量確認時の注意
・充電中、バッテリーパックの残量は表示されません。
・すぐに充電をすることができない場合は、使用中のアプリケーションを終了して、本機の電源を切ってください。

■バッテリーパック充電のしかた

バッテリーパックの充電は専用クレードル（ARK-950ST）または当社指定のUSBケーブルを使用してください。
バッテリーパックを本機に取り付け、クレードルまたはUSBに接続すると充電を開始します。
バッテリーパックの充電状態はステータスLEDで確認することができます。

LED	状　態
消灯	クレードル、USBケーブルが接続されていない
	バッテリーパックのみでの動作
オレンジ色	充電中
緑色	充電完了
赤色	充電異常または充電可能温度範囲外。取り付け直しまたは温度を下げてください。それでも直らないときは、バッテリーパックを交換してください。
	バッテリーパックが入っていない状態でのクレードルまたはUSB給電

専用クレードル（ARK-950ST 別売品）から充電する場合
クレードルのACアダプタプラグをコンセントに接続し、ハンディターミナル本体をクレードルに装着してください。バッテリーパックの充電を開始します。

USBから充電する場合
本機のUSB端子から充電することができます。当社指定のUSBケーブルをお使いください。指定以外のケーブルを使用した場合、充電できない場合があります。
また、充電は電源をオフにした状態で行ってください。電源オン状態では満充電できなくなります。
パソコンを使用し充電する場合、パソコンによっては十分な充電電流が流せない場合があります。その場合は、別のUSB端子をご使用になるか、USB端子型のACアダプタをご使用ください。
なお、USBハブを経由して充電を行わないでください。十分な充電電流が流れず、充電異常になることがあります。

■充電時間

バッテリーパックの充電時間は、本機の使用環境、周辺機器の接続状況、バッテリーパックの劣化状態などに応じて時間は異なります。

※完全放電または充電せず長期間放置（過放電）したバッテリーパックを充電する場合は、通常時に比べ、充電に時間がかかることがあり、ステータスLED が赤色に点灯することがあります。その場合、クレードルへの再装着またはUSBケーブルの再挿入を行い、再度充電を行ってください。
それでも充電異常になるときは、バッテリーパックを交換してください 。

バッテリーパックを充電するときの注意
・バッテリーパックを充電するときは、必ず本機で充電してください。ほかの機器で充電すると正常に充電できません。また、場合によっては漏液、発熱、破裂・発火の原因となります。
・十分に充電をしても使用時間が極端に短くなったときはバッテリーパックの交換時期です。指定のバッテリーパックに交換してください。
・バッテリーパックの使用条件により、寿命が近づくにつれてバッテリーパックが膨れる場合があります。そのようなときはバッテリーパックを交換してください。
・バッテリーパックはご購入時充電されていません。充電してからお使いください。
・長時間未使用だったバッテリーパックは、自然放電によりバッテリーパックの残量が低下していることがあります。使用前に必ず充電してからご使用ください。

使用方法

■電源のオン／オフ

ここでは、電源のオン／オフのしかたについて説明します。

1 電源オン

①電源キーを長押し（約３秒）します
バイブレータが振動し、起動画面が立ち上がったら手を離します。

2 電源オフ

①電源キーを長押し（約３秒）します
バイブレータが2回振動し「電源オフ」の画面が表示されます。
②カーソルキーで「電源オフ」を選択し、ENTキーを押します
シャットダウン処理が始まり、本機の電源が切れます。

※本機の電源を切っていても電力は少しずつ消費され低下していきますので、長期間使用しないときは、バッテリーパックを外して保管してください。

■省電力機能

サスペンド機能によって消費電力を節約し、動作時間を長くすることができます。

サスペンド

ハンディターミナル本体のディスプレイなどの電源を切り、消費電力を節約している状態です。電源は完全には切れていません。作業中のデータがメモリに保存されているため、わずかに電力を消費しますが、サスペンド状態を解除すると、すぐに作業の続きをはじめることができます。少しの間、作業を中断する場合などに便利です。

サスペンド機能を使用する場合

1 サスペンド状態にする

①電源キーを短押し（約0.5秒）します

電源キーを押下し約0.5秒後、バイブレータが１回振動します。その時指を離すとディスプレイが消え、見た目上電源が切れた状態になります。

2 サスペンド状態から復帰する

①電源キーを短押し（約0.5秒）します

サスペンドしたときの状態に戻ります。

※サスペンド状態から復帰後、約７秒間はサスペンド状態への遷移や、電源オフはできません。

サスペンド機能を利用するときの注意

・次のようなときには、サスペンド機能を使用しないでください。本機が正常に動かなくなったり、正しく復帰できなくなることがあります。
　－省電力状態に対応していないアプリケーションや周辺機器を使用しているとき
　－通信用のアプリケーションを使用しているとき
　－USBにて通信しているとき
　－Bluetoothにて通信しているとき
　－電話回線を使って通信しているとき
　－LAN または ワイヤレスLANにて通信しているとき
・サスペンド状態への移行中にSDカードなどの入れ替えを行わないでください。
・サスペンド状態のときに、SDカードの入れ替えや周辺機器の取り付け、取り外しを行わないでください。

副電池の残量確認方法

■副電池（コイン形リチウム電池）の残量確認

副電池の残量は「設定」→「コントロールパネル」→「パワーマネージメント」の「バッテリ」タブ（バックアップバッテリ側）で確認できます
「残りわずか」の状態になったら、ご購入された販売店にご連絡頂き、早めに副電池の交換を行ってください。
副電池の残量が低下すると「コイン電池交換」の警告が表示されます。
表示が出た状態でバッテリーパックを外すと時刻情報がリセットされます。
副電池の交換を依頼されるまで、バッテリーパックは外さずに充電をした状態にしてください。

周辺機器の接続方法

ここでは、周辺機器の接続方法を説明します。

■SDカードスロット（無線LAN／PHSカード用）

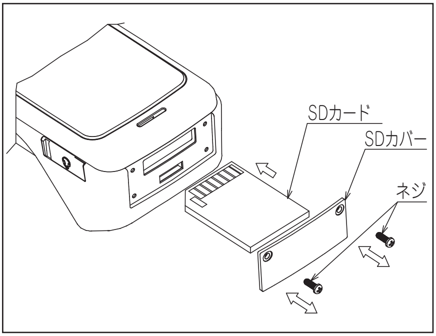
本機では当社指定のSDカード機器を使用することができます。
※SDメモリカードは使用することはできません。

SDカードを取り付け／取り出すときの注意

・SDカードには表と裏があり、スロットに差し込む方向も決まっています。間違った向きで無理に差し込むと、スロットを破損する恐れがあります。
・電源を入れた状態でSDカードをセットしたり、取り出したりしないでください。
・SDカードの認識、停止操作等については、使用しているソフトウェアのマニュアルに従ってください。
・SDカードを無理に取り出すと、本機を破損する恐れがあります。

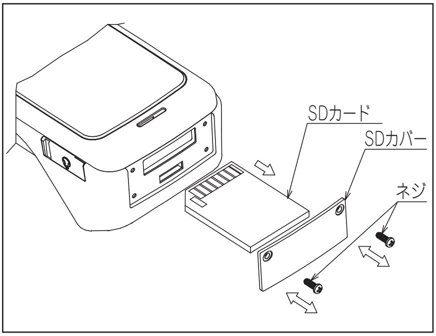
1 SDカードを取り付ける

①SDカバーのネジを外しカバーを開け、SDカードを差し込みます
図のように、SDカードの端子が上を向いた状態にして、スロットにまっすぐ奥まで差し込んでください
②SDカードカバーを取り付け、ネジをしめます



2 SDカードを取り出す

①SDカードカバーのネジを外しカバーを開け、SDカードをまっすぐ引き抜きます
②SDカードカバーを取り付け、ネジをしめます



■USB

本機では当社指定のUSBケーブル（miniB）を使用してパソコンと通信する事が出来ます。

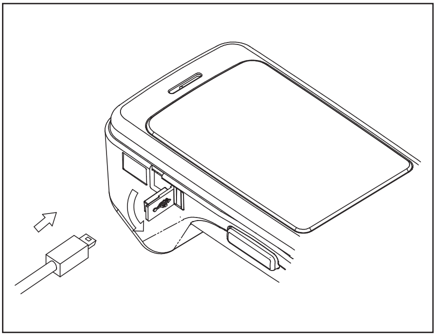
USBケーブルを使用するときの注意

・USBケーブルを間違った向きで無理に差し込むと、コネクタを破損する恐れがあります。
・ケーブルを挿したままの運用をするとコネクタ部に負担がかかり、故障の原因になります。通信以外の場合は抜いた状態で運用をしてください。
・使用しない場合は、必ずカバーをしてください。ゴミ等でコネクタ部が故障する場合があります。

1 USBケーブルを接続する

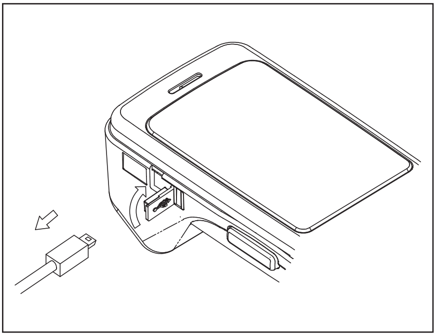
USBカバーを開け、USBケーブルを差し込みます

本機のコネクタの形状に合わせ、ケーブルをまっすぐ奥まで差し込んでください



2 USBケーブルを外す

USBケーブルを図の矢印の方向にまっすぐ引き抜きます
USBカバーを閉めます



■イヤホンマイク

本機では携帯電話用のイヤホンマイク（10芯）を使用することができます。

イヤホンマイクを使用するときの注意

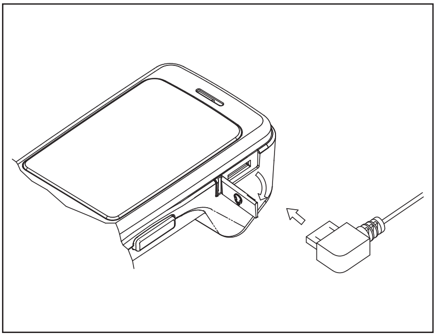
・イヤホンマイクを間違った向きで無理に差し込むと、コネクタを破損する恐れがあります。
・使用されない場合は、必ずカバーをしてください。ゴミ等でコネクタ部が故障する場合があります。

1　イヤホンマイクを接続する

イヤホンマイク端子カバーを開け、イヤホンマイクを差し込みます

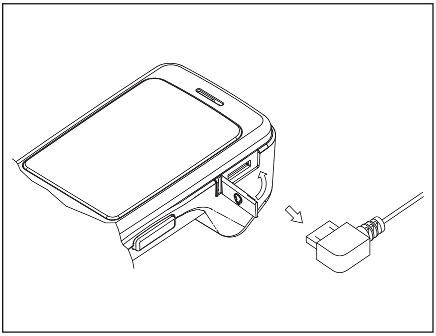
本機のコネクタの形状に合わせ、コネクタにまっすぐ奥まで差し込んでください

※イヤホンマイクによっては図と異なり、コードが出る向きが逆なものがあります。そのようなイヤホンマイクは使用しないでください。カバーの影響によりコネクタ部に負担がかかり、故障の原因になります。



2　イヤホンマイクを外す

イヤホンマイクを図の矢印の方向にまっすぐ引き抜きます
イヤホンマイク端子カバーを閉めます



バーコードの読み取り方

■イメージャモデル

CMOSカメラにてバーコードを撮影し読み取ります。

1 バーコードに対してエイマー（撮影枠）、赤色LED（照明）が照射されます。

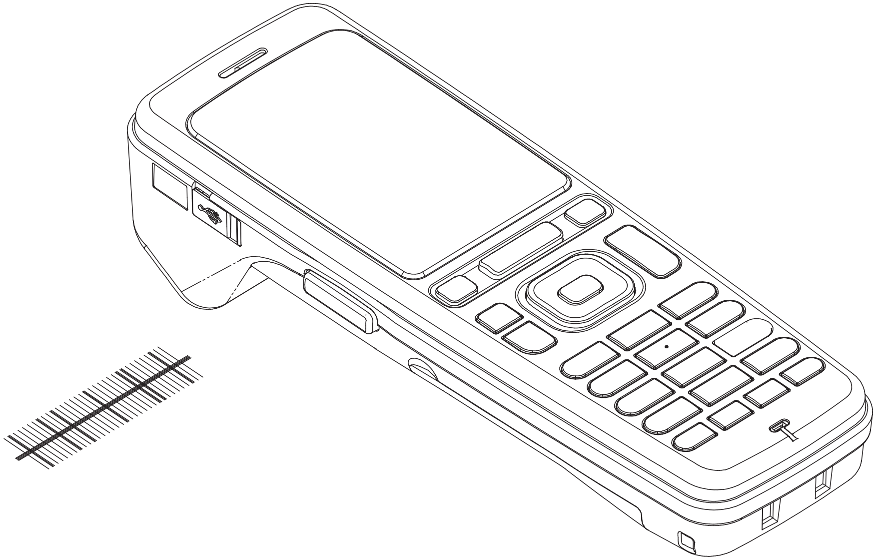
イメージャモデル使用上の注意

- 本機は、レーザー光 最大出力 1mW、波長 650nmのクラス２レーザ製品です。レーザー光が目に入るような行為は絶対に避けてください。
- バーコードラベルが読み取れないときは、ラベルに対してエイマー（撮影枠）の照射角度を変えたり、距離を調整し、再度読み取りを実行してみてください。
- 本機は50㎜～210㎜の距離でバーコードを読み取ることが可能です。なお、バーコードの種別、条件によって読み取り可能な距離が異なります。
- 読み取ろうとするバーコードラベルが大きいものに対してはエイマー内にバーコードが入るよう離してお使いください。

■レーザスキャナモデル

レーザー光を照射して、バーコードを読み取ります。

1 バーコードに対して赤色レーザーが照射されます。



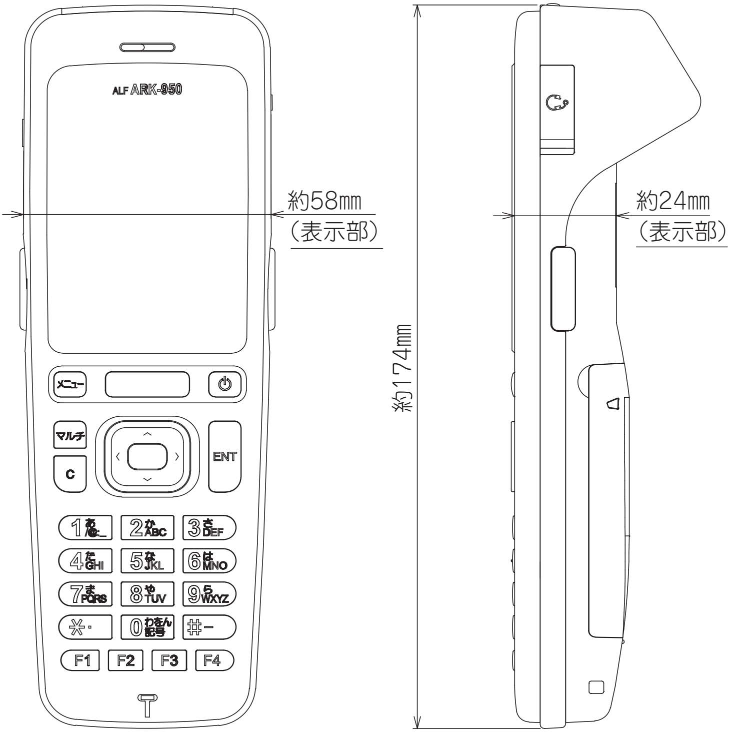
レーザスキャナモデル使用上の注意

・本機は、レーザー光 最大出力 1.7mW、波長 655nmのクラス２レーザ製品です。レーザー光が目に入るような行為は絶対に避けてください。
・バーコードラベルが読み取れないときは、ラベルに対してレーザー光の照射角度を変えたり、距離を調整し、再度読み取りを実行してみてください。
・本機は60㎜～450㎜の距離でバーコードを読み取ることが可能です。なお、バーコードの種別、条件によって読み取り可能な距離が異なります。
・読み取ろうとするバーコードラベルの幅が広いものに対してはレーザー照射口を少し離して読み取ってください。

ARK-950の仕様

型　　式：	イメージャモデル　ARK-950-C、ARK-950-CB レーザスキャナモデル　ARK-950-L、ARK-950-LB
C　P　U：	Marvell® PXA270 416MHz
メ　モ　リ：	RAM128MB、フラッシュROM128MB（ユーザー領域：約60MB）
O　　S：	Microsoft® Windows® CE 5.0 日本語版
表　　示：	2.6インチ、320 × 240 ドット、透過型TFTカラー液晶
スキャナ：	イメージャモデル対応コード UPC、EAN、Code128、Code39、Code93、Code11、 Interleaved 2 of 5(ITF)、Codebar(NW7)、MSI、 Codablock、ISBT128、 GS1 DataBar Omnidirectional、 GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Stacked、 GS1 Databar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、 GS1 DataBar Expanded Stacked PDF417、MicroPDF417、MaxiCode、Data Matrix、QR Code、 AZtec、AZtec Mesas、Code49、UCC Composite、 Postnet(US)、Planet Code、BPO 4 State、Japanease Post、 KIX(Netherlands) Post、Korean Post、Australian Post、 OCR-A、OCR-B レーザスキャナモデル対応コード UPC、EAN、Code128、Code39、Code93、Code11、 Interleaved 2 of 5(ITF)、Codebar(NW7)、MSI、 Discrete 2 of 5、Chinese 2 of 5、 GS1 DataBar Omnidirectional、 GS1 DataBar Truncated、GS1 DataBar Stacked、 GS1 Databar Stacked Omnidirectional、 GS1 DataBar Limited、GS1 DataBar Expanded、 GS1 DataBar Expanded Stacked
赤外線通信：	通信規格　IrDA　Ver.1.3 Low Power 準拠 伝送速度　4Mbps（max）
Bluetooth®※1：	通信規格　Bluetooth® Ver.2.0+EDR 通信距離　約10m（電波の状態や環境により変化します） 出　　力　Class2（最大2.5mW） プロファイル　SPP、DUN-DT
U　S　B：	通信規格　USB1.1 Full Speed（クレードル側と排他利用になります） コネクタ形状　miniB
SDスロット：	通信規格　SDIO（無線LANまたはPHSカード用です）
イヤホンマイク：	サウンド　モノラル入出力 コネクタ形状　平型（10芯）
照度センサ：	ディスプレイ（LCD）のバックライト調整 ソフトウェアの設定により使用可
バイブレータ：	ソフトウェアの設定により使用可

電　　　源：	主 電 池　リチウムイオン充電池　ALF-BT200（メイン電池） 副 電 池　コイン形リチウム電池　CR2032（コイン電池）
充 電 時 間：	クレードル　約３時間 Ｕ Ｓ Ｂ　約４時間30分（電源オフ時）
動 作 時 間：	主電池 ARK-950-C　　15時間※2 ARK-950-CB　14時間※3 ARK-950-L　　15時間※2 ARK-950-LB　14時間※3 副電池　５年（バッテリーパックがない状態）
動 作 温 度：	-5～50℃（充電時は５～35℃）
動 作 湿 度：	20～85%（結露なきこと）
防水防塵性能：	IEC529 IP52、JIS 防滴Ⅱ形相当
電 波 障 害：	VCCI Class B
大　き　さ：	「外形寸法図」をご覧ください。
質　　　量：	約240g（バッテリーパック装着時）

※1　オプション
※2　常温、新品バッテリーパック、画面明るさ設定「2」の状態で、10秒間に２回スキャンの場合
※3　常温、新品バッテリーパック、画面明るさ設定「2」の状態で、10秒間に１回スキャンおよびBluetooth通信の場合

〈外形寸法図〉